

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社中嶋製作所）

# SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目 番号	カテゴリ	チェック項目	取組 レベル	【必須】 の適合 確認入力	【任意】 の適合 確認入力	具体的な取組 （※数値の取得確認があれば、併せて記載） （【非数値】を記載した場合は数値を記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			性別・年齢・障がい・国籍・出身をはじめ、あらゆる雇用条件において、経営トップが率先して差別することのない組織づくりを行っている。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			ハラスメントに対する基本方針、ハラスメント防止ガイドを策定し、社内へ周知すると共に相談窓口を設け体制整備を行っている。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8									16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			長時間労働是正のため、労働生産性の改善（生産設備を導入し自動化の推進と改善活動）や部門毎の時間外労働管理を行っている。							8.8											
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）		【非数値】	現状、外国人労働者を雇用していない。但し、今後採用する機会があった場合には、人権侵害がないよう十分配慮する。	4.4						8.7 8.8			10.2 10.3								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			労働安全衛生講習会の実施や毎月1回、安全衛生委員会による職場巡回を行い労働安全を促進し、週には周知と改善を実施している。また作業中の事故防止のため照明を機材LEDに取替を実施している。	3						8											
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			全社員を対象にストレスチェックを行い、産業医からの指導を受けながら働きやすい職場環境を整えるための改善を実施している。また長時間労働者の健康障害未然防止を図るためマニュアルを作成し周知している。	3																	
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			多様な人材が活躍できるよう、短時間勤務や適切な職場への人員配置に取り組んでいる。					5.1 5.5		8.5			10.2 10.3								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			職務、役職に応じた外部研修受講や社内研修を行い、また適性教育希望者に対しては一定額の補助を支給するなど人材育成に注力している。	4	5.5		8	9													
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			同一労働同一賃金ガイドラインの趣旨を踏まえ、社内体制の整備、対応に取り組んでいる。					5.5		8.5			10.2 10.3								
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			全社員を対象に会社負担でインフルエンザワクチン接種を行い、社員健康増進に取組んでいる。社員の健康増進を推進している。また健康経営優良法人認定（経済産業省）も継続取得している。	3			8														
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			産業廃棄物は定められた手順に則り処理を行っており、各部署において周知されている。										11.6	12		14.1					
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			電気、ガソリン、軽油、灯油等の使用量を把握すると共に、CO2排出量を算出、現状把握に努めている。今後のCO2削減目標を設定し、全社で温室効果ガスの排出量削減を目指している。											7.3				13			
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			温室効果ガス13%削減目標を達成するため、省エネ対策を実施し、省エネ意識の向上を図る。また省エネ対策として省エネ機器の導入を行い、省エネ意識の向上を図る。												7.2 7.3			12.4	13.3		
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			規制対象の有害物質を把握すると共に、使用や廃棄方法等適切に使用に取り組んでいる。			3.9			6.3				11.6	12.4							
項目 番号	カテゴリ	チェック項目	取組 レベル	【必須】 の適合 確認入力	【任意】 の適合 確認入力	具体的な取組 （※数値の取得確認があれば、併せて記載） （【非数値】を記載した場合は数値を記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																	
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			使用している梱包材を生分解性プラスチックを使用するなど環境負荷の少ない資材に変更し、生態系の保護に配慮している。						6.6										15		
16		【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			ゴミの分別、リサイクル、無駄を減らすなどのリデュース活動に取り組んでいる。												13			14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			自社の水連の使用状況を把握・分析し、使用量削減について社内周知を行っている。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）					3.9		6	7							12	13.3	14	15			
19	公正な事業慣行	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			安全衛生委員会に環境担当者を任命し、環境に関する取組を周知徹底している。													12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			本社工場に50kwの太陽光発電システムを導入し、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。						7.2								13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			営業車をハイブリッド車に順次切り替え、石油資源の使用量削減に努めている。												12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職、贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			就業規則に禁止の旨を明記し、社員に周知徹底を図っている。																16 16.5		
23	公正な事業慣行	【公正な競争】 ・不正競争行為に關与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			就業規則に禁止の旨を明記し、社員に周知徹底を図っている。																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			知的財産は、特許と商標を中心に取得しており、知的財産権の保護に努めている。							8.2 8.3	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報保護に適切に管理している	基本 （必須）			社内の個人情報に関しては、管理担当者のみが取り扱う仕組みを構築している。またサイバーセキュリティ対策を講じる。またサイバーセキュリティ対策による被害が発生した場合に備え保険に加入している。																16		
26		【紛争風物】 ・紛争風物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）			自社のサプライチェーンを把握しており、紛争風物などの資材の取扱いがないよう管理している。																16		
27	公正な事業慣行	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			取引先とのコミュニケーションを通じて、人権侵害、生態系への悪影響がないよう、活動を共有している。			5			8		10					12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）			「パートナーシップ構築宣言」を作成し、公表している。			3				8	9	10									17

項目番号	チェック項目	取組 レベル	【必須】 の適合 確認入力	【任意】 の適合 確認入力	具体的な取組 （※数値を記載した場合は、併せて記載） （【数値型】を記載した場合は数値を、【非数値型】を記載した場合は項目名を）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)		製品やサービスの安全性は、設計、製造を通じて社内検証を行っており、それでも不十分なケースを想定し、PL保険にも加入している。				3.9										12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)		ISO9001に沿った「品質マニュアル」での生産活動を実施している。													9						
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		製品開発には、環境負荷物質を使用しないための社内周知を行っている。								6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		四半期毎に営業と製品開発の社内会議を開催し、社会課題に対し解決の糸口となり得る製品開発などにサービス提供を検討するなど取組に注力している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
33	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)		地域事業推進の各企画に担当者が出席し、自社事業が地域に与える影響を把握すると共に、必要に応じて対応している。また長野市内の小学校の社会科見학을積極的に受け入れている。					4					9	11	12		14	15	17			
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		地元商工会議所に参加し、役職については積極的に引き受けるなど、社会貢献活動や対外活動にも積極的に取り組んでいる。また、基本的な労働基準を定めた県、市、市町村等に賛賛金を出している。					4								11			14	15	17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外販）している	チャレンジ (任意)		地域資源、地元企業に目を向けた資材調達や外注委託を行っている。また弊社取引先の食肉もしくは食肉加工品について地産地消に配慮し、社員に対し購入を促している。								8	9		11	12	13						
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有している	基本 (必須)		社員、経営理念を全社員が共有するよう、毎週朝礼で唱えと共に、社内周知を行い周知徹底を図っている。									8	9									
37	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)		コンプライアンス遵守については、就業規則等により周知して役員会や幹部メンバー会議においても意識的に取り組んでいる。またインシデント発生時に全社員に周知徹底を図っている。																		16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)		安全衛生委員会に環境担当者を任命し、環境に関する取組を周知徹底している。																			
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※：株主・債権者、消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)		ISO9001:2015の活動を通じて、自社の活動が及ぼす影響を把握し、適切に対応している。																		16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)		ISO9001:2015の活動を通じて、リスクを特定・把握し、プロセスアプローチによりマネジメントしている。																			
41	組織体制	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		環境に配慮した生分解性プラスチックの活用を進めている。環境に及ぼす影響を軽減するための活動を継続している。																		16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)		定期的な防災訓練の実施、停電時の対応、社内データのバックアップシステムの構築、サイバーセキュリティ対策など様々な観点にわたるBCP対策を実施している。										9		11		13	13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)		事業承継に関しては、ひたすら完了している状況。									8	9									17

上記以外で設定した取組項目																								
独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組																						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								

【記載留意事項】  
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載しただけは登録ができません。（今後、取組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）  
・【非数値】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。  
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する関係機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。（※：職場いきいきアドバンスンバー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証、評価制度、信州リサイクル製品認定制度、長野県環境にやさしい農産物認証制度、信州おもてなし大賞、えるほ認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2削減量認定制度、消防団協力事業所表示制度など）  
○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成  
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は■、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、■で番号を記載  
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせて、「具体的な取組」へ取組内容を記載  
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定

<作成時のお願い>

- 作成前に「**作成マニュアル**」を必ずお読みいただき、マニュアルに沿って作成してください。
- 黄色に塗りつぶされている項目は入力必須項目ですので、入力漏れがないか必ずご確認ください。

<作成後について>

新規申請・更新申請、それぞれ対応方法異なりますので、下記方法にてご対応ください。

■『**新規申請**』の皆さま

**Excelのまま**、申請フォームへ添付してください。

■『**更新申請**』の皆さま

**本シートをPDFに変換いただき**、ポータルサイトマイページ上よりアップロードしてください。

<「具体的な取組」について>

・「取組レベル」の「基本」項目は全て入力必須です。「チェック項目」の内容に照らして、それぞれの企業・団体において記載時点で取り組んでいる内容について具体的に記載してください。

・「取組レベル」でチャレンジとしている項目については任意入力ですが、既に取り組んでいるもの（または、今後取り組む予定のもの）があれば積極的に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する関係機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、できるだけその旨を併せて記載してください。

・登録後は年1回以上の進捗管理にに合わせて、状況を更新し県に報告してください。県に報告いただいた進捗状況については、速やかに公表させていただきます。

・「具体的な取組」については、公表することを踏まえ、具体的かつ企業PRにつながる事項を積極的に記入して

<「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」について>

チェック項目に対する標準的なターゲット番号を記載しています。適宜自社の取組に合わせて変更いただいても構いません。